

ECM-680Sは、カムコーダー本体またはマイクロホン本体から、ステレオモードとモノラルモード（鋭指向）を切り換えることができます。映画・ドキュメンタリー番組制作時には、ステレオモードで、撮影背景の音を自然に収録することができ、ニュース取材においては、モノラルモードの鋭指向のショットガンマイクロホンとして動作しますので、狙った音を確実に収録することができます。

## 主な仕様

|                 |   |
|-----------------|---|
| 形式              | : バックエレクトレットコンデンサー型   |
| ステレオ方式          | : MS(Mid-Side)ステレオ型   |
| 周波数特性*1         | : ステレオ時...50Hz ~ 20,000Hz<br>モノラル時...40Hz ~ 20,000Hz  |
| 指向特性*1          | : ステレオ時...単一指向性<br>モノラル時...鋭指向性   |
| 出力インピーダンス*1     | : 100 ± 20% (1kHzにて)  |
| 正面感度*1          | : ステレオ時... - 28dB*2 ± 3dB<br>モノラル時... - 32dB*2 ± 3dB  |
| 雑音*1            | : 信号対雑音比<br>ステレオ時...73dB以上<br>モノラル時...74dB以上<br>(IEC 179 A-weighted, 1kHz, 1Pa)<br>固有雑音<br>ステレオ時...21dB SPL*3以下<br>モノラル時...20dB SPL*3以下<br>風雑音*4<br>ウインドスクリーン未装着時...60dB SPL*3以下<br>ウインドスクリーン装着時...55dB SPL*3以下<br>外部磁界の誘導雑音<br>0dB SPL*3以下 |
| 最大入力音圧レベル*1     | : 124dB SPL*3<br>(マイクロホンの出力信号が1kHzで1%の波形ひずみを<br>生じる入力レベルの等価入力音圧換算値)   |
| ダイナミックレンジ*1     | : ステレオ時...103dB以上<br>モノラル時...104dB以上  |
| 電源              | : 外部供給方式、DC40 ~ 52V   |
| 消費電流            | : ステレオ時...4mA以下 × 2チャンネル<br>モノラル時...4mA以下   |
| 出力端子            | : XLR-5-12Cタイプ  |
| 許容動作温度*1        | : 0 ~ +50   |
| 許容保存温度*1        | : -20 ~ +60   |
| 外形寸法(最大径 × 全長): | 約 20 × 250mm  |
| 質量              | : 約105g   |
| 付属品             | ウインドスクリーン(1) マイクホルダー(1) マイクスペーサー(2) 接続コード(1) スタンドアダプター(2)<br>キャリングケース(1) 取扱説明書(1) 保証書(1)  |

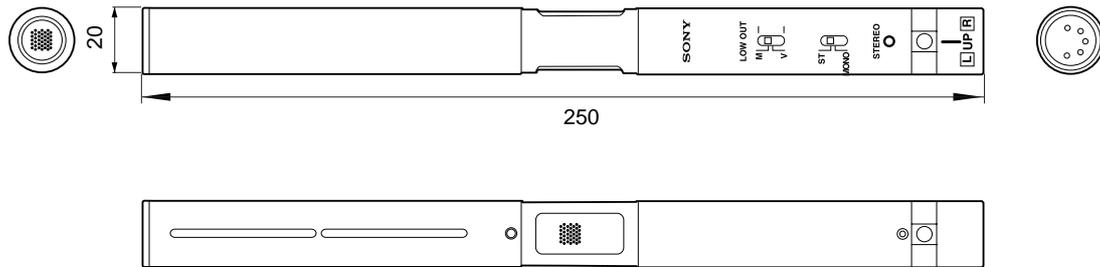
\*1: これらの項目はJIS C-5502-1991マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。

\*2: 0dB = 1V/Pa (1kHz)

\*3: 0dB SPL = 20 μPa

\*4: マイクロホンの各方向に風速2m/秒の気流を当てたとき、マイクロホンに発生する雑音出力の平均値を等価入力音圧に換算した値。(0dB = 20 μPa)

### 外形寸法図



単位:mm

仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのであらかじめご了承ください。